

人と自然が共存する神秘の島

～未来へつなぐ安全・安心な隠岐の国づくり～



赤壁

隠岐支庁県土整備局

〒685-0015 隠岐郡隠岐の島町港町塩口24
TEL:08512-2-9724 FAX:08512-2-9759、9760
<http://www.pref.shimane.lg.jp/oki-kendo/>

島前事業部

〒684-0302 隠岐郡西ノ島町大字別府字飯田56-17
TEL:08514-7-9111 FAX:08514-7-9129

概要

隠岐島は、島根県の北東、日本海中の一群島で、4つの有人島と180余の小島からなり、面積は345.93km²（国土地理院「令和2年全国都道府県市区町村別面積調」※竹島を含む）、海岸線は延長465.6km（令和元年度版海岸統計）にわたる。

島は大別して島前、島後と称し、島前は南西にある知夫里島（知夫村）、西ノ島（西ノ島町）、中ノ島（海士町）からなり、島後（隠岐の島町）は島前の北東18kmに位置する、隠岐郡島中最大の島である。隠岐の南端知夫村知夫湾頭の神島は、本土に最も近く、島根県松江市島根町多古鼻との距離は44kmである。

また、島後から北西約158kmの位置にある竹島は、東西2つの主島と数十の岩礁からなり、その総面積は0.20km²である。

隠岐の島町に属する竹島の領土権の早期確立を目指した運動を推進し竹島問題についての国民世論の啓発を図るため、平成17年、竹島の日（2月22日）を条例で定め、毎年式典を実施している。

断崖・絶壁などの美しい景観、離島ならではの自然、歴史文化が豊富であり全国に誇れる観光資源である。

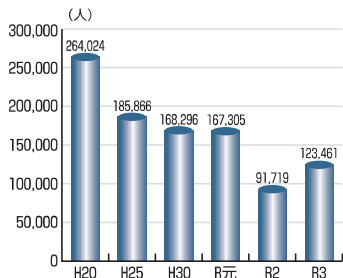
平成25年9月9日には、「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」に認定された。（令和4年度再認定決定）

有人国境離島法が平成29年に施行（～平成39年3月31日）され、特定有人国境地域と定められた隠岐4島では航路、航空路運賃低廉化事業等が実施されている。

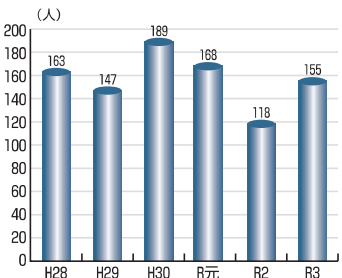
管内面積及び世帯数・人口・高齢化率

町村名	面積 (km ²) (R4.1.1) <small>全国都道府県市区町村別面積調</small>	世帯数 (戸) (R3.1.1) <small>住民基本台帳年報</small>	人口 (人)		人口増加率 (%) (H24.4.1~R4.4.1)	高齢化率 (%) (R3.4.1)	
			(R4.4.1) <small>推計人口</small>	(H24.4.1) <small>推計人口</small>			
島後 隠岐の島町	242.82	7,092	13,164	15,066	△ 12.6	42.6	
島前	海士町	33.44	1,191	2,258	2,289	△ 1.4	40.3
	西ノ島町	55.96	1,533	2,672	3,043	△ 12.2	48.3
	知夫村	13.70	363	606	614	△ 1.3	54.6
計	103.10	3,087	5,536	5,946	△ 6.9	45.7	
合計	345.92	10,179	18,700	21,012	△ 11.0	43.5	
県全体	6,707.85	292,968	659,098	707,439	△ 6.8	34.6	

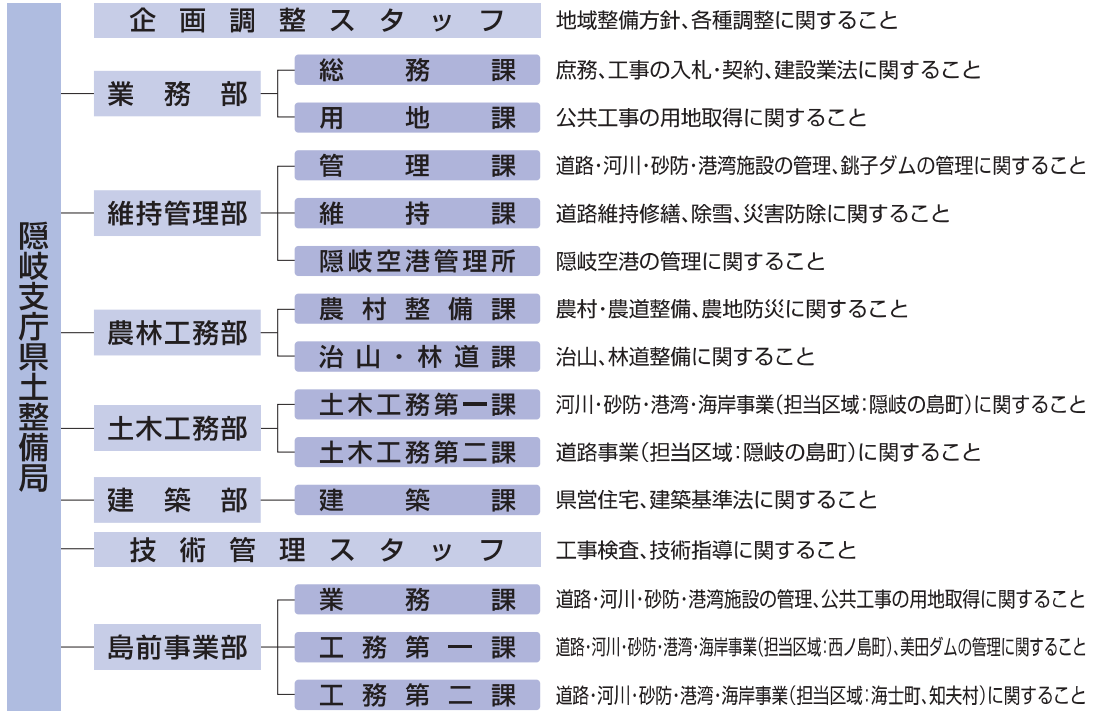
観光客数



UIターン者数



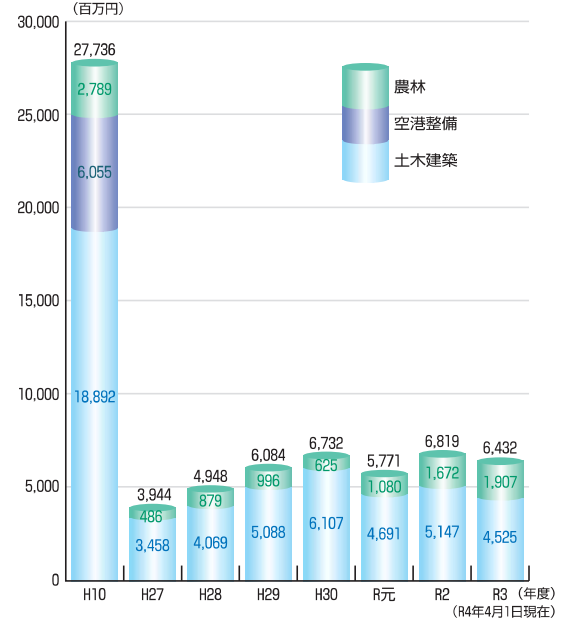
組織・業務内容



沿革

- 明治25年 第一土木管区として発足（管轄：松江市、能義郡、大原郡、仁多郡、隠岐島）
- 昭和31年 旧西郷町に島根県西郷土木事務所を設置
知夫村、海士町、西ノ島町に土木駐在所を設置
土木駐在所が統廃合し西ノ島町に島前出張所を設置
- 昭和35年 建築行政推進のため西郷土木建築事務所と改名
- 昭和52年4月 銚子ダム建設のためダム建設室を設置
- 平成3年4月 隠岐空港建設のために空港整備室を設置
- 平成8年4月 隠岐空港建設事務所を設置（空港整備室は廃止）
- 平成9年4月 隠岐支庁の体制強化のため隠岐支庁土木建築局に改組
- 平成11年4月 銚子ダム完成のためダム建設室を廃止
- 平成12年4月 島前出張所に業務課、工務課の2課制を導入し、組織の充実を図った
- 平成14年4月 県全体の組織改正に伴い、業務部、工務部、建築部島前事業部、技術管理スタッフの4部・1スタッフ制となる
- 平成16年4月 維持管理部を新設
- 平成17年4月 土木建築局と農林局工務部門が統合し名称を隠岐支庁県土整備局と改名（空港建設局廃止）
- 平成18年4月 企画調整スタッフを設置
- 平成24年4月 組織の危機管理の強化を図るために統括調整監が設置され現在の6部、2スタッフ制となる
- 平成25年4月 組織改編により建築部（営繕工事関係）は県民局に移管、県土整備局（建築法令関係）は兼務となる
- 平成31年4月

公共予算の推移



開かれた行政の取組

● イベントの開催

事業に直接触れてもらうことで親しみや関心を持ってもらいます。



空の日イベント（隠岐空港）



小学校野外学習（銚子ダム）



みなとオアシスイベント（別府港）



みなとオアシスイベント（来居港）

ハートフルしまね

島根県公共土木施設（道路・河川・海岸・公園）愛護ボランティア支援制度は施設の清掃や美化などにご協力頂けるボランティア団体を支援しています。



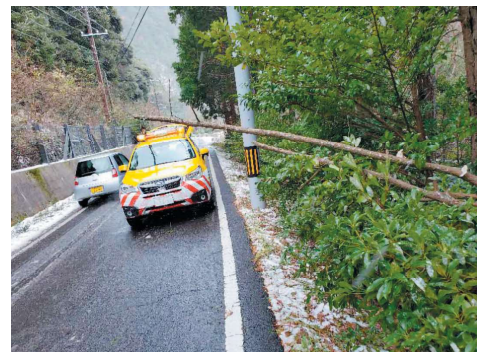
道路清掃

道路などの施設を快適に利用して頂けるよう、職員による清掃活動を行っています。



日常的な保守点検と適切な維持管理

● 道路パトロール



日常的なパトロールにより、道路の異常をいち早く発見し、通行規制や応急処置等の早急な対応と補修を行います。

● 道路災害防除



道路斜面の点検を行い、落石や崩土の恐れがある危険箇所について、対策工事を行います。

パトレボしまね

落石や舗装の陥没、護岸の決壊など、公共土木施設の異常を見つけた時に、県民の皆様から通報できる落石等異常通報アプリ「パトレボしまね」の運用を行っています。



● 災害応急対策



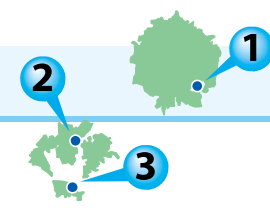
豪雨等により被災した際は、早期に通行を確保するなど、災害応急対策を行います。

● 除雪作業



通勤・通学路や重要な輸送路を確保するため除雪作業を行います。

島民の生活と産業活動を支える港の機能強化



1 西郷港



西郷港 本港地区

大型船舶に対応するふ頭機能の強化、大規模地震災害等の緊急物資輸送基地としての機能確保、施設利用のためのふ頭用地確保を目的に、平成11年度から沖側へ35m前出しした新たなフェリーふ頭の整備を進め、平成22年に現在のフェリー岸壁とターミナルビルが完成、平成25年に高速船岸壁が完成し、隠岐島の生活・産業を支える重要な港湾として機能しています。また令和3年に隠岐ジオゲートウェイ（隠岐ユネスコ世界ジオパーク中核・拠点施設）がオープンし、新たな交流拠点として期待されています。

西郷港 小田地区

西郷港の小田地区には、物揚場（水深4.0m）と背後に約4,400㎡のふ頭用地が整備（S45）され、主に島内産原木の積み出しに利用されていますが、近年の原木生産量の増加に伴い用地が不足し、別の場所に仮置きせざるを得ない状況で、出荷コスト増の要因となっています。

これを解消するため用地の拡大、及び更なる出荷コスト削減のため、大型の運搬船が利用できる岸壁（水深5.5m）の整備を行います。

3 来居港



来居港はフェリーや内航船が着岸する知夫村の玄関口となる港です。平成24年度より安定した内航船運航のための岸壁整備に着手し、あわせてフェリー利用者へのバリアフリー対応のための旅客ターミナル建て替えおよび乗降用通路（ギャングウェイ）の整備が平成30年度に完了し、島民生活の安全・安心確保、フェリー利用者の利便性確保を図りました。令和2年度より港内静穏度の向上を図るべく、既設防波堤改良（直立消波ブロック設置）を進めています。

2 別府港



別府港の貨物岸壁は生活圏に隣接していることから、長年、周辺住民が騒音や粉塵に悩まされていることや、木材等、豊富な資源が活用されていない課題がありました。これらの課題を解決するために平成30年度より岸壁（水深5.5m）の新岸壁の整備に着手し、令和6年度完成を目指しています。これにより既設岸壁周辺の環境改善、港湾貨物の集約、森林の荒廃防止、バイオマス資源の有効活用及び新たな産業創出が期待されています。

地域間交流を促進する道路

1 (主)西郷布施線大久3工区



(主)西郷布施線は、隠岐の島町東側地域の暮らしを支える重要な幹線道路です。釜から大久地区に向かう区間は、幅員が狭く急カーブや急勾配の区間が連続しており車の通行に支障をきたしていることから、交通の安全を確保するため、2車線道路として改良工事を進めています。

2 海士町道日須賀線日須賀工区



海士町の日ノ津地区と崎地区を結ぶ(一)日ノ津崎港線は、幅員が狭く見通しの悪い箇所が多数あり、災害等により通行不能となった場合には崎地区が孤立する恐れがあります。そのため、日ノ津崎港線の代替道路として、2車線で整備されている町道日須賀線を延伸することで、安全・安心に通行できる道路の整備を進めています。

3 (一)国道485号下西2工区



国道485号と県道隠岐空港線との交差点は鋭角な形状であり、急な勾配であるため事故が多発しており、通学路の歩道整備と併せた抜本的な交差点改良を行うべく整備を進めています。

4 (一)国道485号西村2工区



中村から伊後に至る区間は道路線形が悪く、幅員も狭い状況にあります。北小学校への通学路にもなっていることから円滑な交通を確保するため、歩道の 신설を含めた改良工事を進めています。

公共土木施設の計画的な老朽化対策

● 点検・診断



1年に1回の頻度で職員による急傾斜施設の点検を行っております。この点検により状況把握、対応を行っています。



5年に1回の頻度で道路橋の各部材の状態を把握、診断しています。また、この結果により修繕の可否について判断しています。

● 修繕・更新



橋梁点検により判明した損傷箇所の修繕を順次行っています。写真はコンクリートが欠けた箇所の修繕を行いました。



トンネル点検により判明した損傷箇所の修繕を行っています。写真はひび割れ箇所の修繕を行いました。



西郷港では老朽化が著しい栈橋上部工を撤去し、プレキャスト部材で復旧しました。



旧耐震基準で建設された橋梁について、耐震補強工事を行っています。

災害に強い隠岐の国づくり

土砂災害を防止し、住民の生命財産を保全

● 土石流による被害の防止



隠岐県土管内の約86%が森林かつ山地が急峻であることから、大雨による土砂災害が発生しやすい地形となっています。そのため、万が一土砂災害が発生しても下流域まで被害が及ばないように砂防堰堤を整備し、住民の生命や財産を守ります。

● 林地荒廃の防止



● 地すべりによる被害の防止



● がけ崩れによる被害の防止



高潮被害の防止



波浪時に背後家屋に越波被害が生じていることから、平成8年度より海岸保全事業を開始し令和元年度に完成しました。緩傾斜護岸、養浜などの配置により親水機能を持たせた施設整備を行いました。

隠岐世界ジオパーク空港 ～ 離島における民生の安定及び高速交通ニーズへの対応



【高速交通ニーズへの対応】

隠岐地域の地域振興と活性化並びに高速交通のニーズへの対応のため、小型ジェット機が就航可能な2,000m滑走路が平成18年から共用開始されています。利用者増加に伴う機体の大型化（就航最大機は165人乗りボーイング737）やバリアフリー化のため令和3年にターミナルビル拡張や可動式旅客搭乗橋が設置されました。

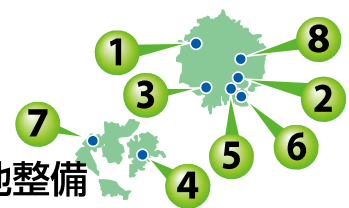
【離島における民生の安定】

島内医療機関で対応が困難な救急患者を本土へ搬送するため、県防災ヘリ、海上保安庁、自衛隊の航空機離発着に24時間体制で対応しています。（写真左は自衛隊C-2輸送機）

積雪時も定期便離発着が可能のように専用大型除雪車両で夜明け前から作業しています。（写真右は金属回転ブラシ付車両による除雪）



農林業の生産を支える基盤の整備



1 ほ場整備



隠岐の島町南方・北方

農地の区画の整形・大型化、用排水路や農道を整備します。農地の大区画化（約10a→30a～1ha）や用水路のパイプライン化等により、労働時間や生産コストを削減し、担い手への農地集積を促進します。

2 用水路整備



隠岐の島町城北町他
(八尾川以南地区)

老朽化した用水路（開水路）をパイプラインに改修し、各水田の取水を自動化することで、農業用水の安定供給や用水管理及び水路の維持管理にかかる労力の省力化が図られます。

3 水利施設保全



隠岐の島町都万

経年劣化や耐用年数経過による突発的な施設の故障を未然に防止するため、必要最小限の設備更新を行います。計画的な予防保全を行うことで、施設の長寿命化や安定的な農業経営に繋がります。

4 ため池整備



海士町大字海士（中里池）

豪雨や大地震等に伴う堤体の決壊による、下流域の集落や公共施設への被害を防止するため、ため池の改修を行います。農村地域の安全安心な生活や農業用水の安定供給に繋がります。

5 農道整備



隠岐の島町下西～城北町（田井地区）

隠岐の島町下西地内と城北町地内を結ぶ農道です。現道の拡幅、線形改良により、農産物輸送の効率化や農村地域の利便性の向上のほか、中学生や高校生の通学路としても利用されています。

6 農道保全(西郷大橋)



隠岐の島町港町～岬町

西郷湾に架かる本橋は西郷広域農道岬線の一部として整備されました。昭和52年の完成後、概ね10年ごとに塗装や補修を行うとともに、令和元～4年にかけて耐震補強と25t荷重化、取付道路の線形改良を実施しました。

7 牧野整備



西ノ島町大字美田

県内でも有数の肉用牛の生産地として取り組まれている隠岐4島の放牧地において、伐採集積、飼料播種、牧柵などを整備することで、生産性向上や担い手確保に繋がります。

8 林道整備



隠岐の島町原田

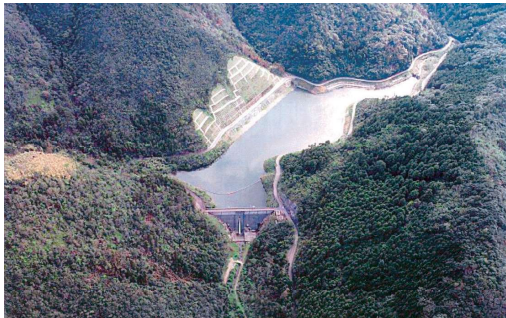
当該路線を基幹林道とし既存林道との路網形成を図り、効率的な林業経営の展開、森林の適正な維持管理を図るため、隠岐の島町 原田地内と郡地内を結ぶ林道を施工中です。

① 銚子ダム



隠岐の島町の洪水調節・水道用水の確保及び既得用水の安定化を目的としたダムとして、平成12年に八尾川水系銚子川に完成しました。ダム完成以降も過去の被害に匹敵する豪雨に見舞われましたがダムの効果を発揮し、被害を最小限に押さえています。

② 美田ダム



洪水調整・水道用水の確保及び既得用水の安定化を目的としたダムとして、昭和53年に隠岐郡西ノ島町的美田川水系美田川に完成しました。しかし、ダム建設後、計画を上回る降雨による洪水被害が発生し、また、夏期の水需要に対応するため、貯水容量の拡大が必要となりました。これらの問題を解決するため、平成9年度から美田生活貯水池（再開発）事業に着手し、平成15年3月に完成しました。

洪水調節 銚子ダム完成前



銚子ダム完成後



ダム完成以降もたびたび豪雨を経験していますが、ダムの洪水調節機能により被害を防いでいます。

渇水対策 銚子ダム完成前



銚子ダム完成後



ダム完成以降も降雨の少ない時期がありましたが、ダムの貯水機能により渇水被害を防いでいます。

【ダムカードの配布】

ダムのことをより知ってもらうためダム管理所（美田ダムは島前事業部）にて配布。カードの大きさ、掲載する情報項目などは、全国で統一。表面はダムの写真、裏面はダムの形式や貯水池の容量、ダムを建設したときの技術、といった基本的な情報を掲載。

ダムカード（表面）

銚子ダム

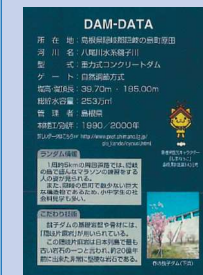


美田ダム



ダムカード（裏面）

銚子ダム



美田ダム

